

## かけがわっ子ひろば 委託事業として新制スタート！ 10月1日には開所式

下校後の学童保育の場である「かけがわっ子ひろば」を地域力向上協働事業制度による市の委託事業で、掛川小学校せとっ子モアスクールとして開設することが決まりました。瀬戸市と掛川地域力向上委員会の間で委託契約が間もなく締結される予定で10月1日(木)から実施します。地域力向上委員会が業務委託を受けて運営するのは瀬戸市で初めてのケースとなります。

掛川小学校体育館2階を整備して活動拠点とします。体育館2階には転落防止柵がつけられ、真新しい畳や37インチテレビが入りました。酷暑日・厳寒期には臨時的に本館3階の音楽室を使用します。音楽室にはエアコンが2基設置されました。備品を置くスペースと活動場所との仕切りをするための可動型間仕切り板も用意され準備がほぼ整いました。

10月1日には15時よりかけがわっ子ひろばの開所式を掛川小学校体育館にて開催します。ご都合のつく方はぜひご来場ください。

### <運営の概要>

- 1 開設日・時間は原則として平日の授業終了後～午後5時30分。学校の長期休業中は午前9時30分～午後5時30分。この間の費用は市からの委託費で賄います。
- 2 午前8時45分～午前9時30分(長期休業中)と午後5時30分～午後7時(平日及び長期休業中)の対応も可ですが、この間における費用は保護者負担となります。
- 3 指導員1名、運営協力員1名、補助員1名、ボランティア若干名を配置します。
- 4 利用できるのは登録した掛川小学校児童



体育館二階の防護柵・畳・可動型間仕切り板



運営のありかたについて保護者集会で協議

## 田の草取りをサポートしました

7月15日(水)、掛川小学校の学習田で田の草取りを会員の有志がサポートしました。まず、水田雑草やそのとり方を説明してから作業を始めました。

米がご飯として食べられるようになるまでには田植えや稲刈りなどの他に、いくつもの工程を経なければなりません。

子どもたちは体験を通してそのことをきっと学んでくれるものと思います。



## 安全・安心なまちづくり活動で表彰を受けました

掛川地域力向上委員会が、日ごろ続けている児童の見守り活動が安全・安心なまちづくり活動に寄与していると認められ、瀬戸市から表彰を受けました。7月25日(土)、平成27年瀬戸市防犯決起大会の場で表彰式があり、市内

7団体と個人二人に対して伊藤市長より感謝状が贈られました。

掛川地域力向上委員会は加藤俊男会長が代表で受け取りました。



## オオサンショウウオ:人工巢穴の清掃と夜間観察

特別天然記念物、オオサンショウウオが蛇ヶ洞川に生息していることを、瀬戸市民などの多くの人たちに知ってもらい、自然環境を守ることの大切さを学んでほしいと思います。

6月28日、瀬戸市（文化課、環境課）と地元の瀬戸オオサンショウウオの会が主催する人工巢穴などの清掃活動と、オオサンショウウオの調査・観察が行われました。公募による32名の他に、小西砕石工業所から14人、大橋運輸から4人が参加し、人工巢穴の清掃と自然の巢穴および生息が予想される場所の整備をしました。

今年は岐阜高校の自然科学部生物班も調査に加わり、例年より多くのオオサンショウウオが発見・捕獲されました。成体が6匹（体長47～85センチ）と昨年末に孵化した幼生が3匹です。参加者からオオサンショウウオの年齢や寿命について質問がでましたが、まだよくわかっていません。大きさ1.5ミリのマイクロチップがオオサンショウウオの背中に埋め込まれ、現在66匹の固体識別ができるようになりました。今後も、捕獲したオオサンショウウオの体長や体重を計測することで、生長の様子や、年齢が推測できるようになると思われます。



事前の草刈に24人が協力



人工巢穴からの砂出し



水生生物調査の子供たち



孵化後8ヶ月の幼生(左はトンボのヤゴ)



体長71cmのオオサンショウウオ



夜間調査で現れた大物

7月25日には本年度最初の夜間観察会が行われました。朝、下半田川町民、約15人で人工巢穴付近とそこまでの通路の草刈りをしました。大橋運輸からの参加者は川の周辺の清掃を行いました。夜間観察会の参加者は32名で、夏休み中の子供たちの参加がめだちました。この日は体長95センチの大きなオオサンショウウオと出会うことができ、皆さんが喜んでいました。8月22日と9月13日にも、夜間観察が行われました。

※ 下半田川町のオオサンショウウオは「広報せと8月1日号」でも大きく取り上げられました。

## これ何？



直径 45 cm ほどの素焼きの鉢で横腹の上の方にいくつかの穴が開いています。下半田川町の民家で植木鉢代わりに庭におかれていたものです。

年配の方ならわかる人も多いと思いますが養蚕用の火鉢なのです。多くの農家では、昔さかんに養蚕が行われていました。蚕を飼うのに季節によっては暖房が必要でした。今のようにストーブやエアコンなどなかった時代ですから、この鉢に炭火を入れて蚕室の暖房をしたのです。昭和 20 年代にもなると蚕を飼う家は次第に姿を消していきました。

そこで掛川小学校では使われなくなった養蚕用の火鉢を両町の農家から譲り受け、冬季に教室の暖房をするのに使いました。この火鉢で暖をとった記憶のある方もいると思います。素焼きで割れやすく、不注意で時々壊してしまっただけのものではないのです。

### ふるさと自然だより

## ムササビ 2 匹現れる

6 月の半ば、下半田川八剣社の森に棲んでいるムササビが樹洞からはじめてペアで姿を現しました。左側はいつも姿を現す固体で、右目に怪我の痕があるので私たちは彼(?)をジャックと呼んでいます。目はばかりでなく左耳も裂けています。



この二匹が親子か、つがいかははっきりと分かりませんが左側がジャックなら右側のほうはベティーと名づけたいところです。

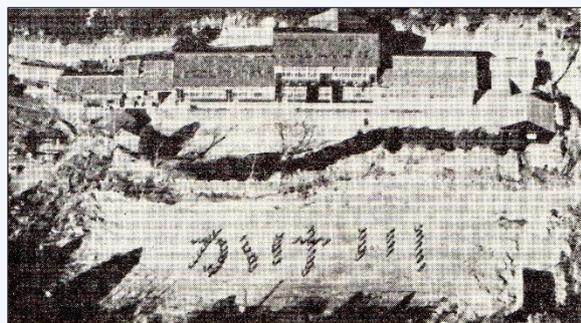


下の写真はムササビの糞。近くの木の元に多数落ちていました。正露丸くらいの大きさです。



# 木造二階建て校舎から鉄筋校舎へ

昭和44年、校庭の下段にあった田んぼの整地をし、念願の南運動場が完成しました。長年親しんできた“上の運動場”は使われることがなくなり、運動会を催すたびに運動器具・放送器具などを運び上げる苦勞から解放されました。



南運動場完成記念の人文字

南運動場があったところには現在、掛川公民館が建っています。

昭和58年には、かねてから念願であった鉄筋コンクリート3階建ての校舎が下半田川町592-41に完成し、4月から新校舎での授業がはじまりました。

それに先立って3月1日、木造校舎から鉄筋校舎移転記念の人文字が書かれました。(写真下)



木造校舎 さようなら 28年間ありがとう

新築移転された鉄筋校舎は、3階の理科室や音楽室の前にテラスが設けられ、贅沢で斬新な造りになっています。

鉄筋校舎完成にあたって校舎の壁に最長1.8m、厚さ10cmの陶板製の大校章が取り付けられました。

制作は日展、朝日陶芸展などの審査員を務めた瀬戸市品野町出身の陶芸家加藤清之氏に依頼しました。費用は第7回卒業生が初老記念にと学校へ寄付したお金が充てられました。

加藤清之氏は従来の瀬戸焼の作品のほか、土の質感を前衛的な造形で表現したオブジェや陶板など多様な作品を作り続けている気鋭の作家で、愛知県陶磁美術館や愛知県勤労福祉会館をはじめ各地施設の陶壁も数多く手がけています。

現在の鉄筋3階建て校舎



陶板製の大大校章 最長1.8m、厚さ10cm

## 上の運動場

大島<sup>たか</sup>登<sup>こ</sup>子

今回は定光寺町半ノ木出身の大島登子さん（旧姓加藤）に手記を寄せていただきました。

大島さんは掛川小学校の卒業生で、学生生活を終えるころまで半ノ木で過ごしました。現在は千葉県佐倉市で趣味の文筆活動を続け、エッセイ・創作など多数の作品を発表しておられます。

私は昭和29年度の掛川小学校卒業生で、初めて投稿させていただきます。

定光寺町を出て50年になります。両親が他界しまして家が空き家になって20年30年と過ぎますと、ふるさとがだんだん遠のいて行く感覚になりました。そんなところに小学校の友人達からの“ふるさとの今”にまつわる便りが来たり、クラス会へのお誘いがあったりで、この何年か再びふるさとが身近になった気がしています。

ふるさと便りの1つに校舎の変遷について調べられたものがあり、興味深く読ませていただきました。幾多の場所を経て、両町（下半田川町と定光寺町）の中間地点に建てられた校舎は、私たちが在校中“上の運動場”と言っていた場所だったと知りました。

上の運動場といえば、何と言っても運動会です。二学期に入ると間もなく毎日のように熱心な先生のご指導の下、練習をしたものです。さらに間近になると運動場の整備も全校児童総出でした。素足で走るわけですから、小さな石ころも取り除かなければなりません。運動場一杯に散らばって、手に山盛り

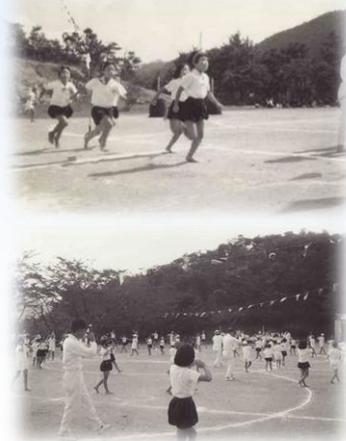
になるほどの石や草を集めました。

そしてもう一つの作業が運動会で使う道具類を運び上げることでした。校舎から運動場までの距離はどのくらいだったのか記憶が薄れていますが、登り坂を大小取り混ぜた器具道具を運びました。不平不満を言う子はなく当たり前としてやっていたような気がしています。よく運んだものです。

運動会そのものの記憶はあまりなく、準備段階のことばかりが思い出されるのは、どこかで「大変だなあ、嫌だなあ」と思っていたからかも知れません。

今ここは、ゴルフ場のクラブハウスや駐車場になっていると聞きます。機会があったら現在の校舎とともにゆっくり歩いてみたいと思っています。

掛川地域力向上委員会に携わる方々、今後のますますのご活躍を心より願っています。



### 編集後記



7月より掛川地域力向上委員会は地域活動支援室のホームページに投稿を始めました。私たちの活動の様子を広く発信していきます。日本国内はもち論ですが、海外からでも見るができます。地域のみなさんも下のURL（ホームページのアドレス）をぜひのぞいてみてください。

<http://203.129.114.11/chiikiriyoku/>